

## 研修プログラム

目的	講義	教材	実習			
<b>職場に慣れる。</b> ①病院内 <b>薬剤部の全体的な業務内容を理解する。</b> ①各部署の業務内容の確認 ②薬剤部マニュアルの概括を理解する。 ③診察から処方せんの流れを理解する。	<b>病院内案内</b> <b>第1章 新人研修の概要</b> <b>第2章 病院・薬剤部概要</b> <b>第3章 関係法規</b>	テキスト  テキスト				
<b>調剤、注射、血液、麻薬、製剤等を学ぶ。</b> ①調剤(計数、計量調剤、書記、交付等)の基本調剤を行う。 ②院外処方箋について理解する。 ③注射薬の交付、麻薬、血液製剤の取り扱い、院内製剤の調製を行う。 ④注射薬混合調製業務を行う。 ⑤化学療法、抗菌剤の適正使用について理解する。	<b>第4章 業務</b> 1 調剤業務 2 薬品管理業務 3 院外処方せん発行に伴う業務 4 注射剤業務 5 製剤業務 6 注射薬混合調製業務 7 輸液の基礎知識 8-1 中心静脈栄養 8-2 TPN時の代謝・栄養管理と合併症対策 9 注射薬混合調製業務(抗がん剤) 10 麻薬・向精神薬の適正使用と管理 11 生物由来製品の保管管理 12-1 化学療法について 12-2 レジメン管理 13 抗菌剤の適正使用	テキスト テキスト テキスト スライド スライド テキスト スライド スライド スライド テキスト テキスト スライド スライド スライド	調剤    注射調剤 製剤 無菌製剤    無菌製剤			
	<b>調剤に関する全ての事項、DI業務を学ぶ。</b> ①DI業務の実施 ②薬物血中濃度の測定 ③治験薬について学ぶ	14 医薬品情報業務 15 薬物血中濃度モニタリング(TDM) 16 治験管理	スライド テキスト スライド スライド	TDM		
	<b>服薬指導に関することを学ぶ。</b> ①病棟での服薬指導を実践する。 ②患者の対応を学ぶ。 ③チーム医療を理解する。 ④チーム医療における情報の共有化の必要性を学ぶ。 ⑤服薬指導記録を書く。 ⑥医薬品の情報の検索方法を学ぶ。	17-1 薬剤管理指導業務 17-2 持参薬管理 18 クニリカルパス 19 緩和ケア 20 ICT 21 NST	スライド スライド スライド スライド スライド スライド	病棟   チームラウンド チームラウンド チームラウンド		
		<b>中毒に対する対応を学ぶ。</b>	22 中毒 23 精神科領域の薬剤業務 24 ワルファリンの薬剤管理指導業務	テキスト スライド スライド		
			<b>医療保険制度について理解する。</b>	<b>第5章 医療保険制度</b> 1 医療保険制度と保険薬局 2 在宅医療(居宅療養管理) 3 DPCとジェネリック医薬品	テキスト スライド スライド	
				<b>第6章 医療事故防止対策と対応</b>	スライド	
		<b>第7章 専門薬剤師制度</b>		テキスト		
		(9週目) <b>エルダーのもとで到達度の評価と指導をうける。</b>  論文のテーマを決める。 (例)病態と症例報告	インスリン指導 糖尿病教室見学 吸入指導			
	(10週目) <b>服薬指導ロールプレイ</b>					
	(11週目) <b>論文の発表(スライド作成)</b>					

中央病院の場合: 新人薬剤師は、エルダーのもとで9月から調剤に関する全て事項をマスターし、10月から夜勤ができるようになる。  
 ① 鑑査の指導と実践 ② 緊急連絡網の確認 ③ 関連部署との連絡、救急対応の仕方を確認 (④夜勤日誌の書き方、夜勤のルールの確認)